

## 平成29年度事業報告

### 事業の概況

平成29年度は、国の「一億総活躍社会」の実現に向けた施策の中で、高齢者施策の予算が充実されたところではありますが、シルバー人材センター事業に対する補助金は、新規事業に対する補助金は増額されたものの、運営費補助金に関しましては、据え置かれた内容となりました。

このような社会のニーズに対応するため、新規事業として、空き家、空き地管理事業（地域就業機会創出・拡大事業）や介護予防・日常生活支援事業などにも積極的に取り組んでまいりました。

こうした状況の中で当センターの事業実績は、第4次中長期計画（以下「計画」という）の数値目標（H29年度）である909,000千円を48,643千円（+5.4%）上回り、年間契約金額は、過去最高の957,643千円となりました。

これは就業開拓の積極的な推進の成果と景気の緩やかな回復によるものと思われる。

職群別の契約額を見てみると、総契約額の半分以上を占める軽作業群（公園清掃、工場内軽作業等）の実績が、553,214千円となり、前年度より12,181千円（+2.2%）増加しました。また施設管理群（駐輪・駐車場管理、学校受付員等）の実績も294,130千円となり、14,700千円（+5.2%）の増加となりました。また昨年、減少していたサービス群（家事援助サービス、育児支援サービス等）が30,783千円となり873千円（2.9%）の微増となりましたが、技能群（金属加工、剪定等）に関しては、4,485千円（-9%）の減少となりました。

なお、公共と民間事業所の契約額比率は、前年度と同様3対7の割合となっております。

また、会員数においては、平成30年3月末現在で1,823人（男性1,215人、女性608人）となり、昨年度に比べ16名減少し、平成25年の高年齢法の改正による定年の延長等の影響もあり、計画の数値目標（2,040人）には届きませんでした。

また、就業率に関しては92.3%（就業実人員1,682人）で、計画の数値目標（H29年度）である87%に対し5.3%上回りました。

### 1 就業機会の確保・拡大

- (1) 就業機会創出員が市内事業所等を訪問し、就業開拓に努めるとともに、求人コーナーにおいて、毎月、定期的に業務委員による就業相談を行い、就業の推進に努めました。

- (2) 「適正就業ガイドライン」に基づき、請負・委任契約で受注することが困難な業務については、労働者派遣事業や職業紹介事業を推進しました。
- (3) 国や市の補助事業（地域就業機会創出・拡大事業）を活用し、新たに「空き家・空き地管理」事業に取り組み、また独自事業として引き続き、地元野菜の栽培・販売事業の拡大・推進に努めました。

## 2 会員の入会促進と普及啓発活動の推進

- (1) 「市政だより」に会員募集や普及啓発記事を掲載するとともに、地域班長宅に入会ポスター掲示や町内回覧板チラシを配布し、入会促進と普及啓発活動に努めました。
- (2) 1 会員 1 名の会員勧誘運動の呼びかけや駅前での「花の種&ティッシュ」を配布し、入会促進に努めました。
- (3) シルバー普及啓発月間（10 月）に第 20 回「シルバークフェスティバル」を開催し、市民との交流を深めるとともに、バザーや寄付金を募り、災害復興支援金として社会貢献を行いました。

## 3 安全・適正就業の推進と徹底

- (1) 安全・適正就業委員会を中心に、定期的に就業現場を巡回し、会員の安全に対する意識の高揚を図るとともに、事故の未然防止に努めました。
- (2) 自転車事故の防止対策として八尾警察、八尾市交通対策課や自動車教習所とも連携し、自転車安全講習会を実施しました。また、大阪府条例で義務化された自転車保険加入の呼びかけやヘルメット着用を促進する助成金制度を実施しました。
- (3) 「適正就業ガイドライン」の遵守と「センター就業基準」に基づき、会員に適正かつ公平に就業機会を提供するため、わかちあい（ローテーション）就業の推進に努めました。

## 4 技能講習会の実施

顧客ニーズや会員の資質向上（スキルアップ）のため、宛名・筆耕講習会やパソコン技能講習会を実施しました。また大シ協主催の高齢者活躍人材育成事業である高齢者自動車運転講習会にも参加しました。

## 5 地域班組織体制の強化の取り組み

班長を通じ、会員の意見や要望などがセンター事業に反映できる、風通しの良い地域班組織体制づくりのため、班長会議や「班長のつどい」であるグランドゴルフ大会を実施しました。

## 6 事務局体制の充実

センター事業運営の多様化と事務の効率化を図るため、Theしるばーシステムの更新と職員の資質向上のため、先進センターの視察や研修会に積極的に参加しました。

## 7 関係機関との連携

八尾市を始め、自治振興委員会などの関係団体や上部団体である大阪府シルバー人材センター協議会等との連携を密にし、円滑な事業運営に努めました。

## 8 事務所・作業所などの整備

事務所及び作業所の整備等については、事務所建設準備資金積立預金を計画的に積み立てるとともに、早期に解決が図られるよう引き続き八尾市に要望しました。